

関係者各位

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

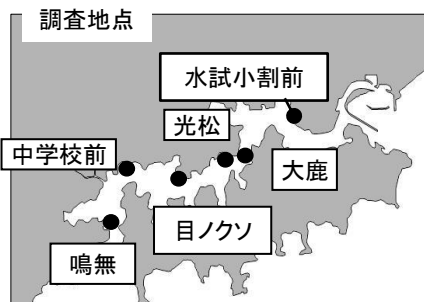
検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモトイが最高で1cell/mL、シャットネラ属が最高で3 cells/mL確認されました。また、漁業被害の報告がないプランクトンであるプロロセントラム・ミニマムが最高で12,800 cells/mL確認されました。

本日の調査では5m層でプロロセントラム・ミニマムの細胞数が多く、赤潮となる恐れがありました。また、優先しているプランクトンが有害種に替わる恐れがありますので、十分注意してください。海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/mL)

	水深	カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	プロロセントラム・ミニマム
中学校前	2m	0	0	20
	5m	0	0	900
目ノクソ	2m	0	0	790
	5m	0	0	7,900
光松	2m	0	0	820
	5m	0	3	1,160
大鹿	2m	0	0	900
	5m	0	2	740
水試小割前	2m	0	0	210
	5m	1	0	1,020
鳴無	2m	0	0	700
	5m	0	0	12,800



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ： 数百～数千cells/mL以上（魚類等のへい死）
- ・シャットネラ属： 10～100cells/mL以上（魚類へい死）